

さえき よしわ こうの
安芸国佐伯郡吉和村 河野家文書 仮目録

広島県立文書館

平成27年(2015)9月

凡 例

1 本目録には、安芸国佐伯郡吉和村 河野家文書を掲載した。

2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(200302)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 200302 / 1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば()で補った。集合形態をした資料の内訳を示す場合には、頭に“○”を付けた。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は()書きで表記した。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。多人数にわたるものは、適宜「他 名」と略記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

3 文書の排列は請求記号順とした。

4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

【文書群概要】

安芸国^{さえき}佐伯郡^{よしわ}吉和村 河野家^{こうの}文書（請求記号 200302）

幕末に広島藩西部の農村で流行した武術，難波一甫流の免許状。

出 所 河野家（小玉家）

出所地名 安芸国佐伯郡吉和村 / 広島県廿日市市吉和 [現在]

旧支配 広島藩領（家老上田家給知村）

分量 4点

収蔵までの経緯 平成15年(2003)4月24日，原蔵者より寄託。

年 代 元治元年(1864)

歴史(沿革 / 履歴等) 小玉氏（本家は児玉）の本姓が河野氏で，維新後は「河野」を名乗るようになった。

内 容 寄託者の曾祖父小玉清三郎が，元治元年(1864)，難波一甫流の師範沼田郡阿戸村有馬平五郎・専三郎から授けられた同流相伝書4巻。同流は，胴廻・剣・杖・取手・縄などをあつかう柔術の一流派で，幕末期に阿戸村の宇高家（本姓有馬）の門弟になり，修練を行った農民は沼田郡や佐伯郡など安芸南部を中心に1,500名を数える。後には農兵の訓練にも用いられた。清三郎の子政一（明治7年生，移民経験あり）も明治39年12月16日に難波一甫流宮本房五郎に入門した。

参考文献 森本邦生氏「難波一甫流の研究」(『県立廿日市西高等学校研究紀要』9・10号)

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

(2015. 4.23 記述 / 西村 晃)

【目録】

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1	秘極千金之巻	元治元. 8.17	有馬平五郎直行(花押)・有馬専三郎直次(花押) 小玉清三郎殿	卷子	1巻
2	難波一甫流組打之巻	元治元. 8.17	有馬平五郎直行(花押)・有馬専三郎直次(花押) 小玉清三郎殿	卷子	1巻
3	難波一甫流剣術之巻	元治元. 8.17	有馬平五郎直行(花押)・有馬専三郎直次(花押) 小玉清三郎殿	卷子	1巻
4	〔難波一甫流相伝書前欠断簡〕	元治元. 8.17	有馬平五郎直行(花押)・有馬専三郎直次(花押) 小玉清三郎殿	卷子	1巻